

◎3年生個別課題研究

○「研究過程において生まれてくるたくさんの疑問を少しずつ解決していくうちに、私は課題研究に充実感を感じていた。自分の立てた仮説とは異なる、というよりむしろ真逆の結果となったが、予測や考察をするという機会を得られたということは間違いなく今後の自分の成長に繋がる」「間違ってもいいから自分の持っている知識でやれるところまで挑戦してみる。そうした経験が私には足りなかった」

□探究学習だけではなく、自分が「学ぶ」ということに何が足りていて、足りなかったのかこのように「振り返って考えている」からこそ人は成長するのでしょう。

○課題研究をするにあたって意識したことは「行動」することだ。「自分の足で出向き、自ら行動を起こす」という研究のプロセスに、むしろ研究成果以上の重点をおくことにした。東北大学の学生や教授にアドバイスや情報を頂き、親身になって知恵を貸してくださった。SNS、本による情報で研究を進めても狭い範囲での課題意識に留まってしまうと思った。同時に「行動力」の大きな意味を感じ取ることができた。教科科目としての勉強に加え、課題研究のような発展的で正解がない学習というのは実に新鮮だった。

□「探究」の目的をきちんと理解し、さらに行動力を持って「学び」「学問」の扉を自分でこじ開けられる人だと感銘を受けました。大学に行ってからさらに花開くでしょう。

☆「振り返り」は皆さんの「学習による成長の軌跡」となる大切な財産です。しっかりと残しておきましょう。ポートフォリオを活用することも良いと思います。

すばらしい！課題研究・地域課題研究報告書をありがとう

4月15日登校日までに提出した研究レポート475作品をすべて読ませていただきました。一言で、「素晴らしい報告書」でした。発表会が実施できていたらどんなに素晴らしかったでしょう。とても悔しい思いです。さてこの後、

3年生は①「課題研究を論文形式にする」
②「自分新書要約」の予定です。

2年生は①「課題研究テーマを考える」
の予定です。

教科学習を進めながらもすこしずつ、進めておいてください。2年生、3年生ともにまとめの際には学校HPにアップした様式を活用してみてください。



◎2年生地域課題研究

○「私たちが地域の課題を他人事として客観的に捉えるのではなく、将来の私たちの課題として、受け止めていくことが重要だ」「『誰かが何かしてくれるのを待つのではなく、自分が何かをする人にならなければ』そういう人達に感化されて、自分が何かをする人になりました」

□課題研究の中で「ジブンゴト化」がテーマの1つでしたが自分たちで気付いて、行動してくれたことに感動しました。

○「大人が高校生の意見を聞いてくれるはずがないと思っていたが、tekuteさんの話を聞いてすごく長町を愛する気持ちが伝わった。私たちを“ただの高校生”ではなく“未来を担う若者”という感じがして嬉しかった」

□自分を「高校生という存在」だけで捉えるのではなく、「社会の中で期待される存在」「未来を担う若者」と周囲から認識されることは有り難いことです。本当に貴重な経験をしましたね。

2年生の皆さんの地域課題については、各チームのプロジェクトと代表者が記載した振り返りを7つの団体の代表の方に送りました。

ここまで実施した探究学習内容はあなたたちの財産です。「振り返り」をしっかりと残しておきましょう。

「公孫樹プロジェクト」

宮城県仙台南高校

総合的な学習の時間・探究の時間運営委員会
令和2年4月29日発行